

平成 19 年度 水循環再生モデル事業の概要

1 水循環再生モデル事業の実施

水循環の再生につながる環境技術の実証モデル事業を実施するとともに、地域協議会が今後取り組む地域のニーズと特性にあった先導的な取組をモデル事業として実施しました。

(1) 環境技術実証モデル事業

水田の冬季湛水（安城市内、協力：明治用水土地改良区）

【調査内容】

- ・ 水量の変化に関する調査
 - ・・・現地測定では約 2 割が蒸発散し、残りの約 8 割が地下水かん養に寄与したものと考えられる。水田周辺でのしみ出しは確認できなかった。
- ・ 水質の変化に関する調査
 - ・・・藻類による生物浄化により、湛水した水はきれいになった。
- ・ 生物調査
 - ・・・カエルや水生昆虫が集まり、越冬する姿もみられた。

(2) 地域活動モデル事業

○ 東三河水循環再生フォーラム

豊川流域における、水循環の現状、動植物、水文化などについて、講座開催や水循環・水文化の理解を深めるための現地見学会、公開シンポジウムなどを実施した。（全 6 回）

テーマ : 森・川・海でつながる地域

- 第 1 回 豊川流域の水の循環
- 第 2 回 水とともに生きる生物たち
- 第 3 回 伝統的な暮らしの中の水循環
- 第 4 回 水と暮らしの伝統 1（フィールドワーク）
- 第 5 回 水と暮らしの伝統 2（フィールドワーク）
- 第 6 回 公開シンポジウム



東三河水循環再生フォーラムの様子